

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第12期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社フュートレック
【英訳名】	FueTrek Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤木 英幸
【本店の所在の場所】	大阪市淀川区西中島六丁目1番1号
【電話番号】	06-4806-3112（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 嶋田 和子
【最寄りの連絡場所】	大阪市淀川区西中島六丁目1番1号
【電話番号】	06-4806-3112（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 嶋田 和子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第11期 第2四半期 連結累計期間	第12期 第2四半期 連結累計期間	第11期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,006,177	1,243,110	2,085,797
経常利益(千円)	156,321	252,054	485,992
四半期(当期)純利益(千円)	84,931	122,261	284,097
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	78,129	96,658	298,252
純資産額(千円)	2,429,378	2,673,488	2,649,501
総資産額(千円)	2,809,799	3,222,125	3,207,131
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	1,823.98	2,625.66	6,101.23
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	84.6	80.0	81.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	349,256	52,643	751,381
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	64,119	208,069	251,214
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	100,464	316,652	99,840
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,795,506	1,537,832	2,009,911

回次	第11期 第2四半期 連結会計期間	第12期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	772.81	2,644.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
4. 第11期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、平成23年4月1日付でイズ株式会社（以下、「イズ」という。）の株式を取得し、連結子会社としております。これによりイズとその子会社である株式会社スーパーワン（以下、「スーパーワン」という。）を連結の範囲に含めております。

セグメント名称については、イズは「ライセンス」、スーパーワンは「ライセンス以外」としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、設備投資や個人消費には持ち直しの動きが見られました。

しかしながら、世界的な金融市場の混乱や株価の低迷、円高の進行、雇用環境の低迷により、景気の先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

当社グループの主なビジネスマーケットであります携帯電話業界におきましては、スマートフォンの勢いが反映されたことにより携帯電話出荷台数は2011年8月度において2,917千台、前年同月比149.1%となっております。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野を核に積極的なビジネスを展開しました。

第1四半期連結会計期間においてイズの株式を取得し、子会社としております。これによりCRMソリューション事業分野を当社グループの新たな事業ドメインと位置付け、新規事業分野進出によるさらなる事業拡大を進めてまいります。

また、スマートフォンやタブレット端末を活用した業務支援ソリューションへの事業展開を加速させるために、新たに音声認識製品ブランド vGate（バイゲート）を立ち上げました。このブランド化によりフュートレックグループが今後の音声認識事業を展開するにあたり、従来の顧客製品への技術の組込みを提案するビジネスにとどまらず、当社グループが自ら直接製品を企画・販売し、さらなる事業拡大を図ってまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は1,243,110千円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益は252,025千円（同63.8%増）、経常利益は252,054千円（同61.2%増）、四半期純利益は122,261千円（同44.0%増）となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第11期 第2四半期連結累計期間 (千円)	第12期 第2四半期連結累計期間 (千円)	増減 (千円)
ライセンス	898,755	1,133,697	234,942
音声認識・UIソリューション	560,947	692,814	131,866
音源	337,807	235,037	102,769
CRMソリューション	-	205,845	205,845
ライセンス以外	107,422	109,413	1,990
基盤	45,192	45,859	666
カード	62,230	63,554	1,323
売上高合計	1,006,177	1,243,110	236,933

ライセンス（音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野、CRMソリューション事業分野）

売上高は1,133,697千円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は692,814千円（同 23.5%増）となりました。カスタマイズ業務による収入は減少しましたが、第3四半期連結会計期間に予定しておりましたイニシャルフィーによる収入が当第2四半期連結会計期間に計上されたこと、ランニングロイヤルティによる収入が順調に推移したことから売上増となりました。

音源事業分野の売上高は235,037千円（同 30.4%減）となりました。イニシャルフィーによる収入は増加しましたが、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモとの音源IPライセンス契約に基づくロイヤルティ収入は、国内市場における音源搭載台数の伸び悩みにより減少となりました。

CRMソリューション事業分野の売上高は205,845千円であります。

第1四半期連結会計期間において新しくグループに加わったイズの持つCRM製品の売上が寄与しております。当社のコア技術である音声認識・音声合成・音声対話とイズのWebアプリケーション開発能力を融合させながら、ソリューションビジネスへの展開を図り新たな業界への進出を目指してまいります。

ライセンス以外（基盤事業分野・カード事業分野）

売上高は109,413千円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

基盤事業分野の売上高は45,859千円（同 1.5%増）となりました。カスタマイズ業務による収入は減少しましたが、新規プロジェクト「E検定～電気・電子系技術者育成プログラム～」による収入に加え、イズの子会社化に伴い連結子会社となったスーパーワン（イズの子会社）の売上が寄与し、前第2四半期連結累計期間と比較し、ほぼ横ばいとなりました。

カード事業分野の売上高は63,554千円（同 2.1%増）となりました。英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みによる収入は微増となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ472,079千円減少し、1,537,832千円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの概況は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は52,643千円（前年同四半期は349,256千円の獲得）となりました。

これは、主な増加要因としまして税金等調整前四半期純利益251,545千円の計上と、非資金費用である減価償却費145,625千円によります。減少要因としては、主に売上債権の増加146,690千円、仕入債務の減少22,085千円、法人税等の支払額170,531千円によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は208,069千円（前年同四半期は64,119千円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出20,376千円、無形固定資産の取得による支出75,190千円、投資有価証券の取得による支出33,000千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出81,820千円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果使用した資金は316,652千円（前年同四半期は100,464千円の獲得）となりました。

これは、主に短期借入金の返済による支出200,000千円及び配当金の支払（少数株主への配当金を含む）99,955千円等によるものであります。

- (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題
当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。
- (4) 研究開発活動
当第 2 四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は101,731千円であります。
なお、当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。
- (5) 従業員数
第 1 四半期連結会計期間において、イズの株式を取得し、連結子会社としております。これによりイズとその子会社であるスーパーワンを連結の範囲に含めております。これに伴い、ライセンスの従業員数は37名、ライセンス以外の従業員数は7名それぞれ増加しました。
なお、従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除いております。）であります。
- (6) 生産、受注及び販売の実績
当第 2 四半期連結累計期間において、ライセンスにおける音声認識・UIソリューション事業分野、CRMソリューション事業分野の販売実績が著しく増加いたしました。その内容については「(1) 業績の状況」に記載のとおりであります。
- (7) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し
当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。
- (8) 資本の財源及び資金の流動性についての分析
資金の状況
当第 2 四半期連結累計期間における資金の期末残高は、法人税等の支払、短期借入金の返済、配当金の支払（少数株主への配当金を含む）等により前連結会計年度末に比べて472,079千円減少し1,537,832千円となりました。
資金需要
当社グループの運転資金需要の主なもの、売掛金、買掛金の回転期間差異に基づく運転資金及び研究開発資金であります。
財政政策
当社グループの運転資金につきましては、自己資金で対応することを原則としております。
また、必要な資金は銀行等金融機関からの借入により調達しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	158,720
計	158,720

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	47,296	47,296	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	47,296	47,296	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	47,296	-	716,570	-	914,795

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式 数の割合 (%)
藤木 英幸	京都市南区	12,896	27.27
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	東京都千代田区永田町二丁目11-1	2,840	6.00
株式会社ドコモ・ドットコム	東京都港区赤坂一丁目7-1	1,920	4.06
株式会社ユーエスシー	東京都品川区大崎一丁目11-2	1,360	2.88
ガイアホールディングス株式会社 (旧社名：株式会社アプリックス)	東京都新宿区西早稲田二丁目18-18	1,350	2.85
古谷 利昭	大阪市都島区	1,154	2.44
プライベートエクイティジャパン株式会社	東京都港区虎ノ門五丁目11-1	1,000	2.11
株式会社フュートレック	大阪市淀川区西中島六丁目1-1	732	1.55
株式会社フェイス	京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1	640	1.35
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9-1	613	1.30
計	-	24,505	51.81

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 732	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 46,564	46,564	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	47,296	-	-
総株主の議決権	-	46,564	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フュートレック	大阪市淀川区西中島六丁目1番1号	732	-	732	1.55
計	-	732	-	732	1.55

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、前事業年度の有価証券報告書に記載した事項を除き、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	技術本部 本部長	松本 光生	平成23年9月30日

(2) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	技術本部 本部長 兼 経営企画部 部長	取締役	経営企画部 部長	吉田 一也	平成23年9月30日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009,911	737,832
売掛金	439,581	653,990
有価証券	1,000,000	800,000
仕掛品	20,336	32,529
その他	55,830	61,060
貸倒引当金	1,375	2,470
流動資産合計	2,524,283	2,282,942
固定資産		
有形固定資産	70,342	102,725
無形固定資産		
のれん	51,243	187,193
その他	226,901	290,680
無形固定資産合計	278,144	477,873
投資その他の資産	334,360	358,583
固定資産合計	682,847	939,183
資産合計	3,207,131	3,222,125
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,214	59,692
短期借入金	200,000	-
1年内返済予定の長期借入金	-	40,836
未払法人税等	175,904	128,024
賞与引当金	39,705	50,683
その他	64,039	98,240
流動負債合計	554,864	377,476
固定負債		
長期借入金	-	170,705
リース債務	753	455
その他	2,010	-
固定負債合計	2,764	171,160
負債合計	557,629	548,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	1,029,028	1,053,505
自己株式	69,963	69,963
株主資本合計	2,590,429	2,614,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,257	36,488
その他の包括利益累計額合計	7,257	36,488
少数株主持分	51,814	95,070
純資産合計	2,649,501	2,673,488
負債純資産合計	3,207,131	3,222,125

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
【 四半期連結損益計算書 】
【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	1,006,177	1,243,110
売上原価	489,954	465,550
売上総利益	516,223	777,560
販売費及び一般管理費	362,388	525,535
営業利益	153,834	252,025
営業外収益		
受取利息	1,840	1,230
受取配当金	250	704
その他	458	646
営業外収益合計	2,548	2,580
営業外費用		
支払利息	62	2,551
営業外費用合計	62	2,551
経常利益	156,321	252,054
特別利益		
貸倒引当金戻入額	400	-
特別利益合計	400	-
特別損失		
固定資産除却損	-	148
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	-
損害賠償金	-	360
特別損失合計	240	508
税金等調整前四半期純利益	156,481	251,545
法人税、住民税及び事業税	47,320	125,940
法人税等調整額	16,532	14,799
法人税等合計	63,852	111,140
少数株主損益調整前四半期純利益	92,628	140,404
少数株主利益	7,697	18,143
四半期純利益	84,931	122,261

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,628	140,404
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	14,499	43,745
その他の包括利益合計	14,499	43,745
四半期包括利益	78,129	96,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,432	78,515
少数株主に係る四半期包括利益	7,697	18,143

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,481	251,545
減価償却費	119,713	145,625
のれん償却額	4,186	11,562
貸倒引当金の増減額(は減少)	451	681
賞与引当金の増減額(は減少)	89	282
受取利息及び受取配当金	2,090	1,934
支払利息	62	2,551
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	-
固定資産除却損	-	148
売上債権の増減額(は増加)	139,499	146,690
たな卸資産の増減額(は増加)	129,320	8,952
仕入債務の増減額(は減少)	38,037	22,085
その他	12,424	7,941
小計	496,589	224,227
利息及び配当金の受取額	2,495	2,115
利息の支払額	510	2,808
損害賠償金の支払額	-	360
法人税等の支払額	149,318	170,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,256	52,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	12,959	20,376
無形固定資産の取得による支出	35,036	75,190
投資有価証券の取得による支出	19,002	33,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	81,820
その他	2,878	2,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,119	208,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	-
短期借入金の返済による支出	-	200,000
長期借入れによる収入	-	220,000
長期借入金の返済による支出	-	236,407
配当金の支払額	96,533	97,235
少数株主への配当金の支払額	2,720	2,720
その他	282	290
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,464	316,652
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	385,601	472,079
現金及び現金同等物の期首残高	1,409,904	2,009,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,795,506	1,537,832

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、イズ株式会社の株式を取得し、連結子会社としております。これによりイズ株式会社とその子会社である株式会社スーパーワンを連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 賞与引当金繰入額 11,738千円	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 賞与引当金繰入額 14,054千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) 現金及び預金勘定 995,506千円 取得日から3ヵ月以内に償還期限が 到来する短期投資(有価証券) 800,000千円 現金及び現金同等物 1,795,506千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) 現金及び預金勘定 737,832千円 取得日から3ヵ月以内に償還期限が 到来する短期投資(有価証券) 800,000千円 現金及び現金同等物 1,537,832千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	97,784	利益剰余金	2,100	平成22年3月31日	平成22年6月21日

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	97,784	利益剰余金	2,100	平成23年3月31日	平成23年6月20日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ライセンス	ライセンス以外	合計
売上高			
外部顧客への売上高	898,755	107,422	1,006,177
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	898,755	107,422	1,006,177
セグメント利益又は損失()	162,329	8,495	153,834

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ライセンス	ライセンス以外	調整額(注1)	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,133,697	109,413	-	1,243,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	6,313	6,313	-
計	1,133,697	115,727	6,313	1,243,110
セグメント利益又は損失()	251,395	5,684	6,313	252,025

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間にイズの株式を取得し、子会社化しております。これによりイズとその子会社であるスーパーワンを連結の範囲に含めております。ライセンスにおいて当該事象による資産の増加額は、当第2四半期連結累計期間においては475,007千円であります。

また、ライセンス以外において当該事象による資産の増加額は、当第2四半期連結累計期間においては37,691千円であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1,823円98銭	2,625円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	84,931	122,261
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	84,931	122,261
普通株式の期中平均株式数(株)	46,564	46,564

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月2日

株式会社 フュートレック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寺田 勝基

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嘉之

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フュートレックの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フュートレック及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。